

# 医労連速報 '13春闘

2013年2月25日 No6 東京都台東区入谷1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

## 特定看護師抗議はがき600枚提出



本部に届けられた「看護師特定能力認証制度に反対」抗議ハガキが厚労大臣600枚、永井座長に130枚となり22日に提出してきました。対応した看護課総務係は、「制度の骨格が決まった程度で、どんな法案になるとか含め未定」としました。

足立信也参議院議員の政策秘書とも懇談しましたが、委員会に出されていないのでまだ何ともとのことで、今後の情報交換を依頼してきました。抗議ハガキ、どんどん出して圧力かけて下さい。

## 「夜勤は有害」ポスター好評、増刷!

「夜勤は有害、保護と規制が必要」ポスターが好評を得ています。各職場に貼りたいので足りないとの要望を頂き、増刷としました。数に限りはありますが、是非活用してください。必要数を担当者までご連絡を。(担当:新宮)



職員休憩室にポスターを貼る  
徳島健生協労組の上村委員長(左)

## 要求実現に執念-長野

長野県医労連は、中央委員会で全労連顧問・元日本医労連書記長の坂内三夫氏の講演も入れて行いました。坂内氏は、「春闘活性化のためには、要求実現に執念を燃やすこと。それが仲間的心を揺り動かし、社会も変えていくことになる。経済界からもベアが必要という声も出てきた。自動車・電機に変わって、医療・福祉、自然エネルギーに大きく産業構造が転換、労働運動も転換する。医療連が日本の労働運動を主導していく」と展望を力強く語りました。遠山書記長は、2月20日の県内経営者要請行動を成功させ、賃金、夜勤改善、そして職場要求実現に「しつこく」執念を燃やしてたたかおうと方針提起しました。

「夜勤改善・増員署名」でも奮闘しています。長厚労佐久支部は「臼田地区健康と福祉の集い」で女性部の手作り桜餅も配りながら宣伝、県労連書記局ではバレンタイン行動を行いました。署名も数でトップ5に入っています。

